

週報

感染性胃腸炎(腸管病原菌)検出

センター受託検査分より

検出菌 ウイルス	平成29年												平成30年															
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月 ~7日	1月 ~14日	1月 ~21日	1月 ~28日	2月 ~4日	2月 ~11日	2月 ~18日	2月 ~25日	3月 ~4日	3月 ~11日	3月 ~18日	3月 ~25日	4月 ~1日	4月 ~8日	4月 ~15日	4月 ~22日
カンピロバクター	61	68	80	122	83	118	142	87	98	161	109	84	7	8	10	12	11	10	5	13	11	14	12	11	19	18	20	28
病原性大腸菌	107	105	89	113	64	135	206	161	102	112	73	110	14	17	14	21	15	16	6	14	10	13	19	2	21	21	19	12
腸管出血性大腸菌	0	0	0	0	0	1	1	1	0	2	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0
サルモネラ	0	1	7	11	10	13	18	29	9	12	16	3	0	0	2	1	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	2	1
黄色ブドウ球菌 MSSA	6	11	12	15	9	21	32	17	24	24	9	12	2	3	2	7	3	3	2	3	2	2	2	1	6	6	2	7
黄色ブドウ球菌 MRSA	16	19	13	17	15	23	27	16	22	19	15	16	3	1	3	5	4	3	1	3	6	3	2	2	2	3	1	4
腸炎ビブリオ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	2	1	3	0	5	9	11	5	14	3	1	0	0	0	0	2	1	3	1	3	1	0	1	0	2	1	0
ロタウイルス	1	0	1	6	6	3	1	1	0	0	0	0	0	0	1	1	2	1	1	7	4	4	5	5	6	12	16	9
アデノウイルス	0	0	0	0	1	0	0	2	0	1	1	3	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ノロウイルス	7	4	8	6	11	13	8	2	1	3	7	21	2	4	2	5	4	2	3	4	10	5	2	0	1	2	1	0

広島県感染症発生動向週報

平成30年第16週(4月16日~4月22日)

2 一類・二類・三類・四類感染症及び全数把握五類感染症発生状況

類別	報告数	疾患名	計	西部	西部東	東部	北部	広島市	呉市	福山市
一類	0	発生なし	0							
二類	3	結核	3		1	2				
三類	2	腸管出血性大腸菌感染症	2					1	1	
四類	1	日本紅斑熱	1							1
五類全数	7	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	1			1				
		梅毒	3				2		1	
		百日咳	2		1			1		
		風しん	1					1		

注) 西部…大竹市、廿日市市、府中町、海田町、熊野町、坂町、安芸高田市、安芸太田町、北広島町、江田島市 西部東…竹原市、東広島市、大崎上島町
東部…三原市、尾道市、世羅町、府中市、神石高原町 北部…三次市、庄原市

● 詳しい流行状況は、広島県感染症・疾病管理センターのホームページをご覧ください。 <http://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/hcdc/>

広島県感染症情報センター 提供

定点・全数把握疾患週報【広島市】(第16週 4/16~4/22)

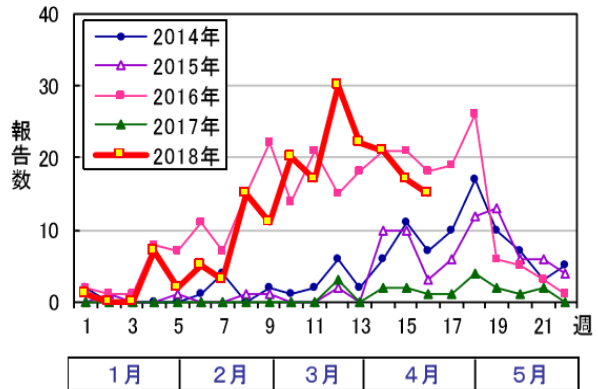
広島市感染症対策協議会/広島市感染症情報センター 提供

1. 感染性胃腸炎(ロタウイルス)

感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに限る。)は基幹定点から15人の報告があり、前週と比べてやや減少しました。

例年、5月頃まで報告数が多い傾向にありますので、引き続き、オムツや吐物の適切な処理、手洗いなど、感染予防対策を心がけましょう。

基幹定点からの感染性胃腸炎(ロタウイルス)報告数



2. 風しん

1件の報告がありました。風しんの感染予防には予防接種が最も効果的です。定期予防接種(無料)対象の方は早めに接種しましょう。また、過去に風しんにかかったことがない方、予防接種を受けていない方は、医師に相談して、予防接種を受けましょう。

【参考】

・健康推進課「麻しん(はしか)風しんの予防接種を受けましょう！」

<http://www.city.hiroshima.lg.jp/www/contents/1204083272907/index.html>

■ 定点把握感染症報告状況(週報対象)

定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均(過去5年間)	発生記号	定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均(過去5年間)	発生記号
小児科	インフルエンザ	25	0.68	2.21	急増	小児科	流行性耳下腺炎	1	0.04	0.54	横ばい
	咽頭結膜熱	10	0.42	0.50	横ばい		RSウイルス感染症	5	0.21	0.14	横ばい
小児科	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	74	3.08	2.39	急増	眼科	急性出血性結膜炎	1	0.13	-	横ばい
	感染性胃腸炎	289	12.04	8.90	急増		流行性角結膜炎	8	1.00	0.70	横ばい
	水痘	6	0.25	0.53	横ばい		細菌性髄膜炎	-	-	-	横ばい
	手足口病	8	0.33	0.81	横ばい	基幹	無菌性髄膜炎	-	-	-	横ばい
	伝染性紅斑	1	0.04	0.23	横ばい		マイコプラズマ肺炎	-	-	0.08	横ばい
	突発性発しん	10	0.42	0.48	横ばい		クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-	横ばい
	ヘルパンギーナ	4	0.17	0.13	横ばい		感染性胃腸炎(ロタウイルス)	15	2.14	-	急増

急増	↑	前週と比較しておおむね1:2以上の増減
増減	↗	前週と比較しておおむね1:1.5~2の増減
微増減	↔	前週と比較しておおむね1:1.1~1.5の増減
横ばい	↔	ほとんど増減なし

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

インフルエンザ定点数(小児科定点を含む)	37
小児科定点数	24
眼科定点数	8
基幹定点数	7

(注)過去5年間の同時期平均(定点当たり)

■ 全数把握感染症報告状況

類型	疾患名	報告数	累計	備考
3	腸管出血性大腸菌感染症	1	1	男性(10歳未満)・O157
5	梅毒	2	32	男性(20歳代)・1人、男性(30歳代)・1人
5	百日咳	1	8	女性(60歳代)
5	風しん	1	4	女性(40歳代)

■ 新たに判明した病原体検出状況

(検査: 広島市衛生研究所)

診断名	主症状	年齢	性別	発症年月日	検査材料	検出病原体
急性脳炎	嘔吐 下痢 脳炎 意識障害	1	男	2018/03/03	糞便	A群ロタウイルス
感染性胃腸炎	嘔吐 下痢 腹痛	5	男	2018/03/11	糞便	/ロウイルスG2
RSウイルス感染症	上気道炎 肺炎 無呼吸	0	女	2018/02/23	咽頭拭い液	RSウイルス

* 感染症発生動向調査に基づく病原体定点搬入分のみ掲載